

図-5.2.6.1 地下水の水位及び水質の調査地点

5.2.7 サンゴ類

(1) 調査項目

調査項目はサンゴ類の生息被度、生息状況、食害生物の出現状況等としました。
なお、調査期間中の海上工事が未実施であるため、本調査結果は海上工事実施後の事後調査結果と比較検討を行うための「工事前」の調査結果とします。

(2) 調査実施日

調査実施日は表-5.2.7.1に示すとおりで、冬季の分布状況を調査するためのライン調査及びスポット調査を平成27年12月～平成28年2月に行いました。

表-5.2.7.1 サンゴ類の分布状況についての調査実施日

調査区分	調査実施日
ライン調査 (64 測線)	平成27年12月12日～平成28年2月22日
スポット調査 (108 地点)	平成27年12月15日～平成28年2月10日

注) 漁港管理者の同意が得られていない8測線の一部及び2地点については、調査を実施していません。

(3) 調査位置

調査位置は、ライン調査は図-5.2.7.1に示す64測線、スポット調査は図-5.2.7.2に示す108地点において行いました。

(4) 調査方法

1) ライン調査

調査方法は水深20m以浅では潜水目視観察、水深が20mを超える場所では、ROV (Remotely Operated Vehicle : 遠隔操作無人探査機) 方式による水中ビデオ撮影としました。

潜水目視観察は、調査測線に沿って幅10m、距離10mを1単位とした観察を連続して移動しながら実施し、地形(水深)、底質の状況、サンゴ類の出現種及び被度を記録しました。ROV調査は、GPSにより調査測線上を操船しながら、ROVを船上から遠隔操作することにより、サンゴ類の生息状況を調査しました。

2) スポット調査

調査方法は5m×5mの方形区の調査地点を設定し、各調査地点において潜水目視観察を実施し、サンゴ類の出現種及び被度を記録しました。また、スポット調査のうち12地点については、サンゴ類の出現種の記録及び群体分布位置のスケッチを行い、詳細観察地点として整理しました。

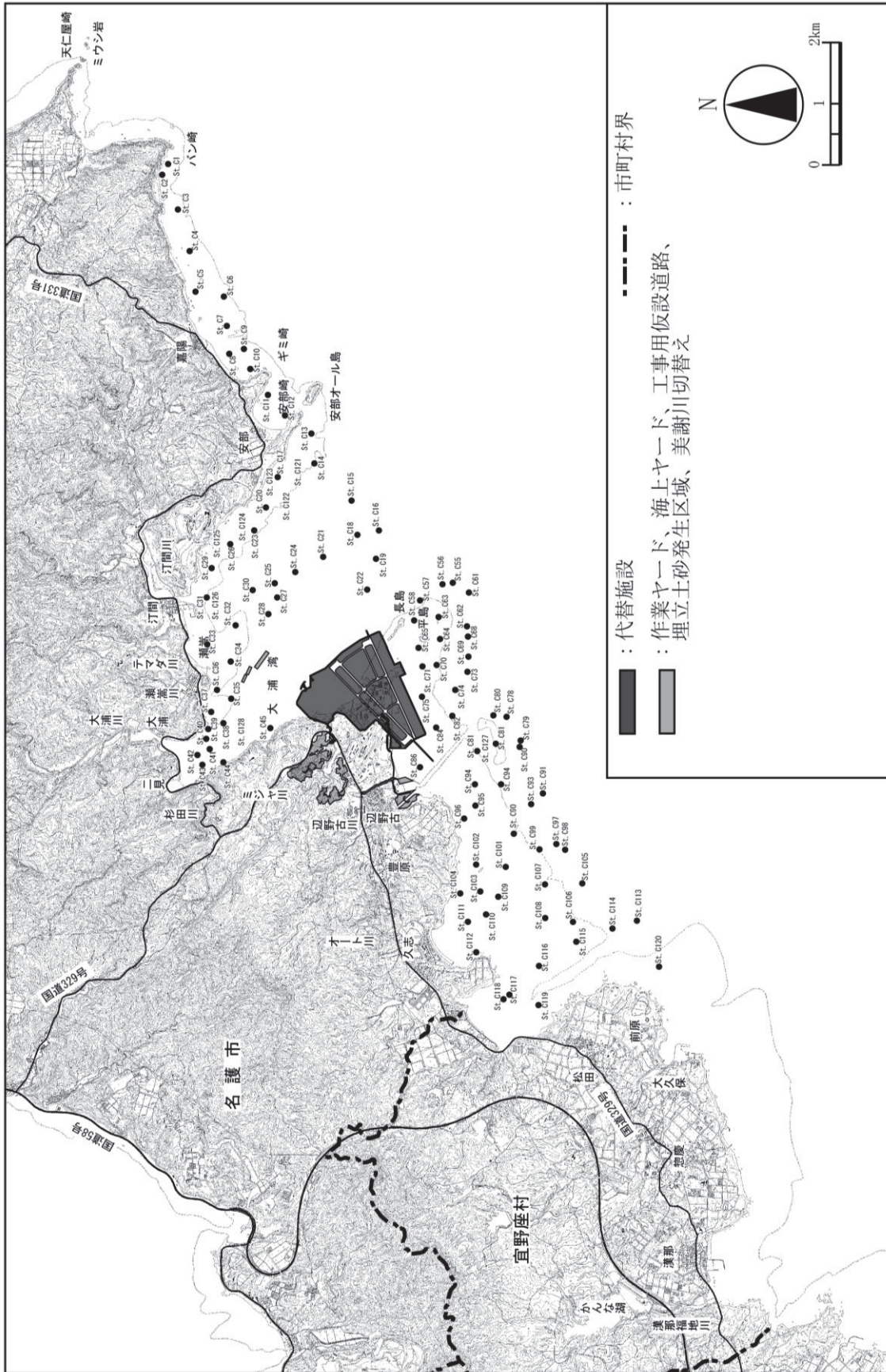


図-5.2.7.2 サングコ類のスポット調査位置

5.2.8 海藻草類

(1) 調査項目

調査項目は海藻草類の生育被度、生育状況としました。なお、調査期間中の海上工事が未実施であるため、本調査結果は海上工事実施後の事後調査結果と比較検討を行うための「工事前」の調査結果とします。また、クビレミドロについては、本調査期間中が繁茂期（春季の4月）ではなかったことから、実施していません。

(2) 調査実施日

調査実施日は表-5.2.8.1に示すとおりで、冬季の分布状況を調査するためのライン調査及びスポット調査を、サンゴ類の分布状況についての調査と同時期に行いました。

表-5.2.8.1 海藻草類の分布状況についての調査実施日

調査区分	調査実施日
ライン調査（64 測線）	平成 27 年 12 月 12 日～平成 28 年 2 月 22 日
スポット調査（100 地点）	平成 27 年 12 月 15 日～平成 28 年 2 月 10 日

注) 漁港管理者の同意が得られていない 8 測線の一部及び 2 地点については、調査を実施していません。

(3) 調査位置

調査位置はライン調査が図-5.2.8.1に示す 64 測線、スポット調査が図-5.2.8.2に示す 100 地点において行いました。

(4) 調査方法

1) ライン調査

調査方法は水深 20m 以浅では潜水目視観察、水深が 20m を超える場所では、ROV（Remotely Operated Vehicle：遠隔操作無人探査機）方式による水中ビデオ撮影により行いました。

潜水目視観察は、調査測線に沿って幅 10m、距離 10m を 1 単位とした観察を連続して移動しながら実施し、地形（水深）、底質の状況、海藻草類の出現種及び被度、海草上の浮泥の堆積状況や付着藻類の状況を記録しました。ROV 調査は、GPS により調査測線上を操船しながら、ROV を船上から遠隔操作することにより、海藻草類の生育状況を調査しました。

2) スポット調査

調査方法は 5m×5m の方形区の調査地点を設定し、各調査地点において潜水目視観察を実施し、海藻草類の出現種及び被度、海草上の浮泥の堆積状況や付着藻類の状況を記録しました。

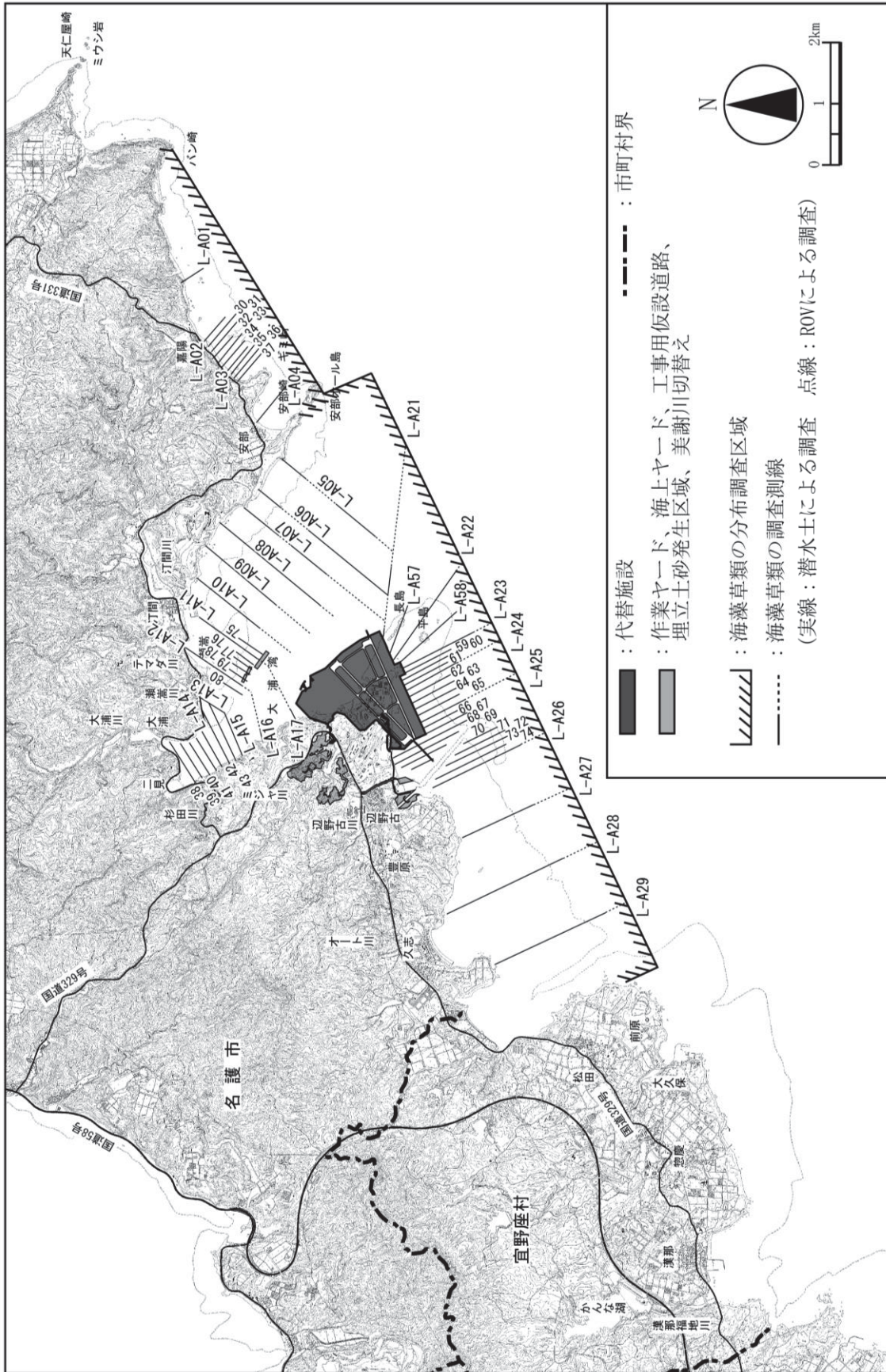


図-5.2.8.1 海藻草類のライン調査位置

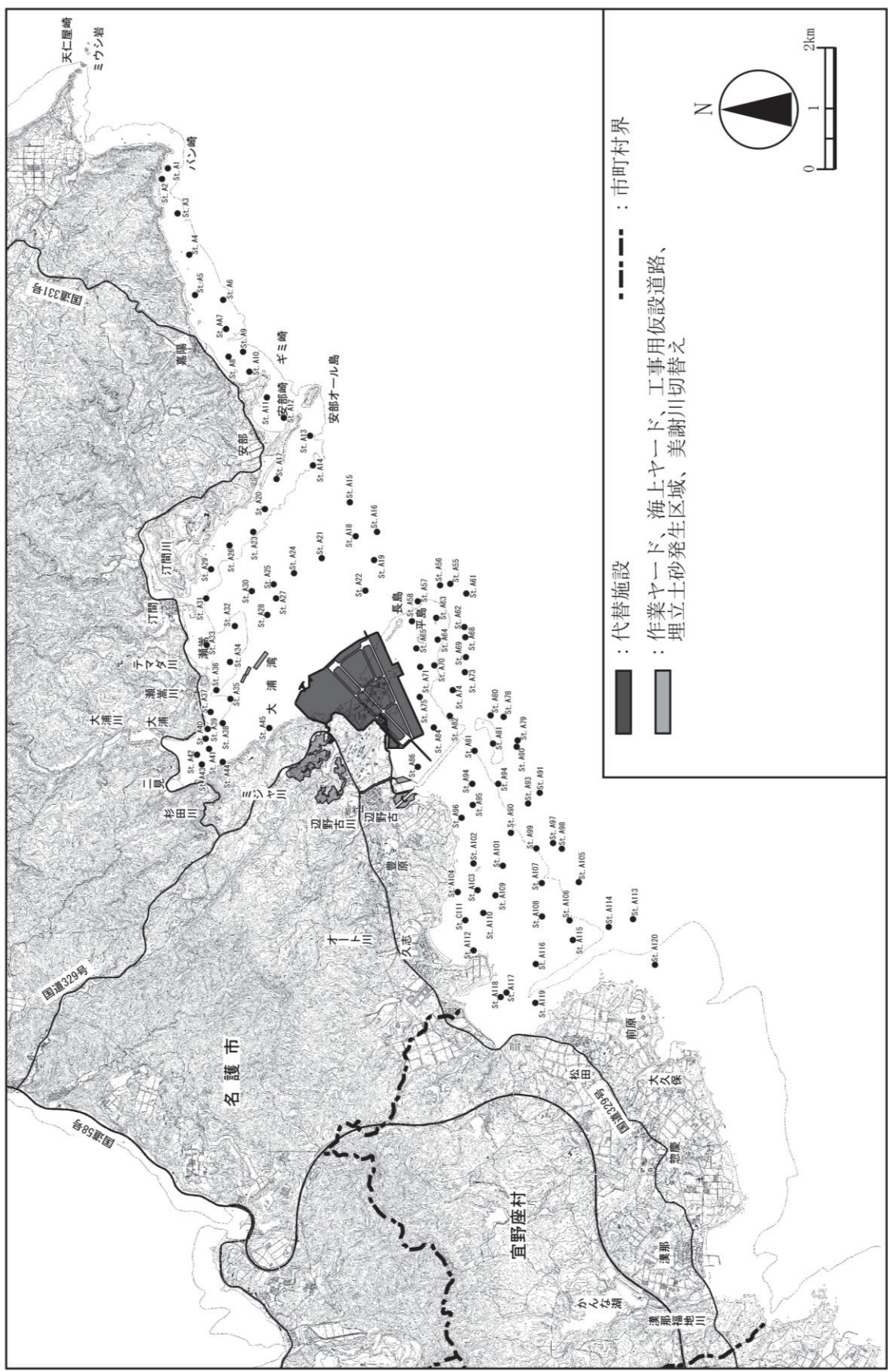


図-5.2.8.2 海藻草類のスポット調査位置

5.2.9 ジュゴン

(1) 調査項目

調査項目は、嘉陽周辺海域及び他の生息海域におけるジュゴンの生息状況のとして、嘉陽周辺海域における海草藻場の利用状況についての調査を行いました。

なお、本調査期間中には海上工事は実施していないため、ヘリコプターからの監視及び機器観測による他の生息海域（古宇利島沖など）を含む生息状況についての調査、並びにジュゴンの工事海域への来遊（接近）状況についての調査は実施していません。

(2) 調査実施日

調査実施日は表-5.2.9.1に示すとおりで、平成27年10月～平成28年2月に月1回の頻度で実施しました。

表-5.2.9.1 嘉陽周辺海域におけるジュゴンの海草藻場利用状況についての調査実施日

調査実施日		
平成27年	10月	29～31日
	11月	21、26、27日
	12月	18、19、21日
平成28年	1月	21、26、27日
	2月	17、18、22日

注) ジュゴンの嘉陽周辺海域における海草藻場の利用状況については、平成27年10月(工事着手の届出後となる10月29～31日)にも調査を実施しているため、これらの調査結果も合わせて示しています。

(3) 調査位置

調査位置は図-5.2.9.1に示す安部・嘉陽地先の海草藻場を調査の対象としました。

(4) 調査方法

調査方法は、潜水調査員が海底を目視観察するマンタ法により、ジュゴンのものであると思われる食跡の位置や数を把握しました。